

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Next Step 基山

公表日 令和8年9月17日

利用児童数 28名

回収数 25件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	1	1	・利用人数によっては狭く感じることもある。 ・クールダウンして落ち着く部屋があってもいい。 ・色々な場所へ外出している為いいのかなと思う	・活動や療育内容によって、公園や体育館などの公共施設を活用することも行なっています。 ・クールダウンの場所は限られたスペースになるため、様子に合わせて事務所も活用しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2	0	2		人員配置は定められている人数よりも多く配置し、運営しております。新しく入職した紹介ができていないスタッフに関してはホームページなども活用して情報を公開する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1	2	2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	0	2	1	・言ってもダメだと思ひ話を聞いてもらえないということが増えた。	・学年、その日の様子、特性などに合わせて、将来を見据えた言葉かけを行なっています。その中で自分の思い通りにならない事もあるかもしれません。その際もご家族様と共有して意見も聞きながら協力して療育を進めたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	3	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	3	0	0	・外出が多いのが気になる。 ・視線がなくなった時の対応が合っていないと感じる。報告あっても何でと思うことがある。	・外出は長い時間の利用しかできない現状を考え、児童の発達などにもお考えを伺っています。また、長期間の療育で室内療育中心となった際の児童のストレス等や特に身体面は発達中のリスクなども考えた中で事業所外の施設利用の企画も多くなりました。 ・【視線がなくなった】理由や状況など様々です。何が原因で今後の観察に向けて何が課題かしっかりと向き合う必要があると考えます。事業所の長とご家庭で長さを考える必要がある場合もあると思います。その場合の解決方法も多く提案するのをお待ちしています。保護者様の目標、支援者の目標を共有しながら今後の将来に繋がります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	1	2	・子供達が飽きないように色々な活動をやっていると思う。 ・色々な活動を行なってくださって子供も楽しみにしている。	療育の目的が大前提として、児童が楽しむことができることを大切にしながら企画しております。今後も、スタッフも一緒に楽しめるような活動を企画、運営したいと思っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	3	13		（近隣の）放課後等デイサービスの事業所と昨年度はハロウィン、クリスマスイベントを共同で行い、交流を回りました。今後も他事業所との共同での活動なども検討していく予定です。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	1	0	直接話をして丁寧な説明があった。	今後丁寧な説明に心がけたいと思います。また、今後は保護者様により活動内容や相談しやすい環境づくりとして、施設運営システムの導入を予定しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	2	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	5	3	13		保護者様と実際に話す機会を設けて、共通の理解を深めて、支援に繋げてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	24	0	1	0	連絡ノートで家庭では気づかない様子や子供の様子をよく見ていると思う。	連絡ノートでは個々のスタッフの視点だけでなく、共通認識の内容を盛り込んでおります。今後もご家庭での様子では見られない様子などもお伝えできるように、新システムで情報を共有します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	2	2		日々の中のお困りごとなどありましたら、送迎時などの短い時間でもお伝えいただき、事業所での面談やお電話対応なども随時行っておりますので、ご利用ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2	1	1	(保護者の)自己肯定感を見直すきっかけになっている。	事業所での遠くご家庭での遠くの遠くで子育てする保護者様も多いかと思いますが、例えば事業所では出ている悩みも自宅では本当に？と感じてしまうかもしれません。児童の発達や成長、課題を保護者様と共有しながら、今後も関わります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	6	5	14		昨年度は開所年度(令和7年9月開所)でもあり、イベントとの開催が企画できなかったですが、開所して一年経過して、今年度は10月に交流できるイベントを予定しております。今後も保護者様やきょうだいの関わりを持つ場を企画してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	0	3	子供からの相談に対して「気のせい」と言われたり、トラブルの対応に当事者と子供の双方の話を聞いてすり合わせが行われていないと感じている。	各児童のトラブルに関しては、双方の意見を聞いて対応はしていますが、ご意見からスタッフの伝えたい内容が前向きに伝わっていない可能性も感じます。学年や経験力に差はある中で、個別に対応していますが、個々の事業で再度スタッフと相談して対応します。気になる際はスタッフの方にお伝えいただけたら幸いです。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2	1	0	LINEもあるので毎月の紙ベース写真は嬉しいが、先生方の負担もあるかと感じる。	今後は施設運営システムの導入により、写真を個別に添付して様子を見ていただくことを考えています。
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	1	1	0	毎月の写真とLINEで発信されてどんな運営で過ごしているのかを把握しにしている。行事予定もよく見てチェックしたり時々「本人が」意見を言ったりしている。活動予定の情報を早めに教えてくれると嬉しい(川遊びをどこに行くのか、何をやるのか、など)	月の予定表を提示しておりますが、具体的な内容を予定としてよりわかりやすいように掲載することを検討します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	2	毎月の写真(紙)は他の児童が写っているため保管に注意している。	利用児童のみの配布ではありますが、今後は運営システムの中での個々のアカウントの中での各児童の写真公開や、配布しているニュースレターも各児童個別で作成するように運用を変更します。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2	1	7		ホームページの活用などで保護者様にも周知できるように、進めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	8		実際の内容(活動中)を発信して周知していきます。
満足度	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2	0	4		保護者様に安心いただけるように、保護者様に情報を発信してまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	8		運動療育を行うことも多いため、活動中や活動後の集合毎に児童に聞き、送迎時などにてお伝えしております。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	1	1	3	嫌がらず落ち書きで通所している。全体的にとっても安心して預けている。本人も楽しいようで、翌休みはイベント表もあったため行きたい欲が上がっていた。	楽しく通えることを前提にしながら、療育内容を企画している中で、このような意見を頂戴しています。ありがとうございます。ありがとうございます。今後も色んなことに挑戦したり経験を積み重ねる中で成長を目指して進みます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	1	2	・いつも楽しみにしている。 ・活動内容によって違う。 ・行き渋りはないが本人が様子見をしている感じはある。	通所して「楽しかった」と言ってもらえるように日々、活動内容を考えたり実施しています。一方、「楽しくない」と思う児童もいるかもしれません。その点は楽しんでいるだけでなく現状の通所している児童の様子や課題として取り組みたい内容を総合的に判断して対応を決定する事もありますので、ご理解いただけたら幸いです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	4	0	1	よくしていただけて感謝している	ありがとうございます。そのようなお言葉をいただくことが、スタッフの喜びでもあります。今後も一生懸命、全力で関わってまいります。何かご意見あればいつでもお伝えください。